



NEXT

紀の川ミーティング

第2回
報告書

2026年1月28日（水）9：30～12：00

@本庁舎5階501大会議室

目次

1. 実施概要	3
<hr/>	
2. 実施結果	6
<hr/>	
3. 実施後アンケートの結果	12
<hr/>	
4. (参考) 模造紙の写真	19
<hr/>	

1.実施概要

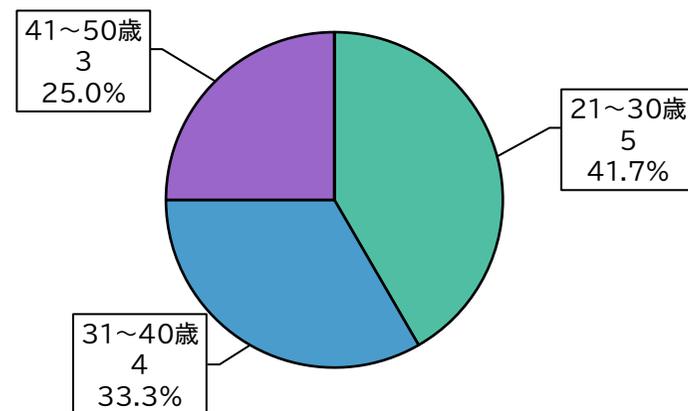
実施概要

第2回NEXT紀の川ミーティングは、主任級以下の職員12名に参加いただきました

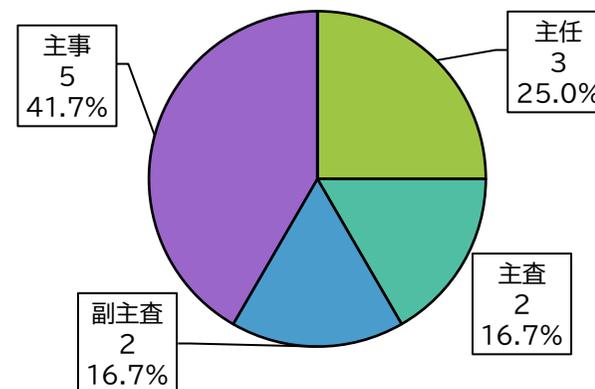
実施概要

対象	主任級以下の職員
参加者数	12名
実施日時	2026年1月28日（水）9:30～12:00
実施場所	本庁舎5階501大会議室
テーマ	✓ 市民の想いをつなぐ将来像づくり ✓ 長期総合計画のまちづくりの目標づくり
内容	将来像の実現に向け、各領域・分野の方向性案を 検討・作成する
成果物	✓ 紀の川市の将来像 ✓ まちづくりの目標の方向性（イメージ）

参加職員の年齢



参加職員の役職



第2回NEXT紀の川ミーティング

第2回NEXT紀の川ミーティングでは、第1回の結果を見ながら次期長期総合計画のまちの将来像とまちづくりの目標の方向性（イメージ）を検討しました

時間	内容	詳細
9:30-9:35 (5分)	はじめに	紀の川市よりご挨拶
9:35-9:45 (10分)	情報共有	NEXT紀の川ミーティングの目的、第1回NEXT紀の川ミーティングの振り返りについて説明
9:45-11:45 (20分)	ワーク①	「市民の想いをつなぐ将来像づくり」 第1回にグループで検討したまちの将来像を示すフレーズと将来像に込めた思いをもとに、参加者全員でまちの将来像を検1つに集約
11:40-11:57 (70分)	ワーク②	「長期総合計画のまちづくりの目標づくり」 分野ごとに将来像と将来像に込めた思いからイメージできる具体的な内容を意見だし
11:57-12:00 (5分)	おわりに	紀の川市よりご挨拶

当日の様子

【ワーク①の様子】



各グループの進行役・書記を中心に、前回各グループで作った将来像と込めた思いを見て、共通点や相違点を見つけ出し将来像に盛り込むべきキーワードを改めて整理したうえで、将来像のフレーズとフレーズに込めた思いを1案にまとめました

【ワーク②の様子】



分野ごとに将来像と将来像に込めた思いからイメージできる具体的な内容を思いつく限りたくさん意見だしました

2.実施結果

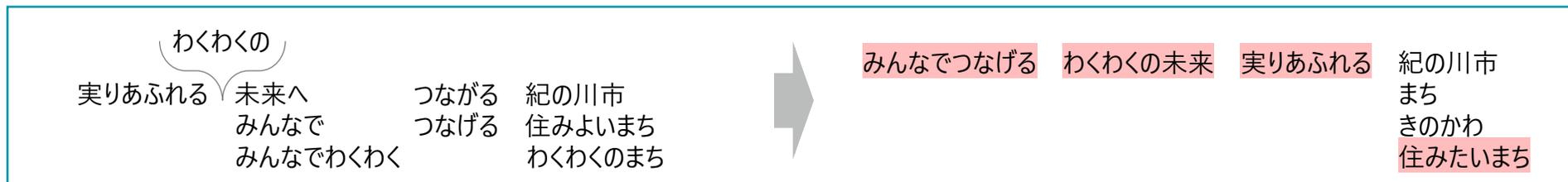
ワーク①「市民の想いをつなぐ将来像づくり」

第1回で作成したまちの将来像と込めた思いから共通点と相違点などの視点から情報を整理し、紀の川市の未来を思い浮かべ、そのイメージにあう言葉をつなげてフレーズを作りました

共通点・相違点の抽出

共通点	相違点	紀の川市らしさ
<p>どんな共通点？ワークショップも含めて</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ つなげる (つながる) ☆ 自然を大切にする紀の川市 ☆ 未来志向 ☆ 暮らす (長く住みたい 子育てしやすい) ☆ 世代間の交流とか ☆ 安心・安全で住みよいまち 医療 ☆ 持続可能な ☆ ぷるっと (色んな良いイメージが浮かぶ) ☆ やわらかいイメージ ☆ したしみやすい・・・etc 	<p>相違点だけど大事にしたいワード</p> <ul style="list-style-type: none"> • わ (輪) 人の温かみを感じてもらえるような・・・ • 人が主役のまちづくり (ぷるっと→はっさくやいちごなどの粒を子ども、市民に見立てて得意な分野を担ってもらう) • 輪⇒未来を選び取るまち • あふれる • わくわく⇒未来の紀の川市へ向かって • みんなで • 全世代で 	<p>独自性のある紀の川っぽいワード</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自然 • 実る (果物、人の気持ち) • 豊か • ぷるっと⇐実りある • ぷるぷる

組み立て直す



ワーク①「市民の想いをつなぐ将来像づくり」

まちの将来像のフレーズに込めたそれぞれの言葉の意味を書き出しました

意見の整理

みんなでつなげる

- 人・インフラの発展
- 世代のつながり
- 地域
- 自発的に個々が主体でつながる
- （人が主役）

わくわくの未来

- 未来志向
- 活気
- 何でも挑戦
- 選びとる未来
- 発展・期待できる
- 子育てしやすい
- 持続可能

実りあふれる

- ぷるっと
- 自然
- 豊かな
- 農作物
- 人の心
- 笑顔
- 歴史・文化

住みたいまち

- 安心・安全
- 医療の充実
- 仕事・子育ての充実
- 観光
- 移住・定住
- 地域の絆

ワーク①「市民の想いをつなぐ将来像づくり」

参加者全員で考え話し合いをした結果、まちの将来像と込めた思いを1つの模造紙に整理しました

まちの将来像

みんなでつなげる わくわくの未来 実りあふれる 住みたいまち

将来像に込めた思い

みんなでつなげる

各地域・世代の人々が関わり合って、楽しんでほしい。ともに、インフラも発展してほしい。

わくわくの未来

みんなが未来に希望を持ち、挑戦できる活気ある社会を表現しました

実りあふれる

豊かな自然、農産物、歴史、文化があり、人の心・笑顔があふれてくるまちへの気持ちを込めました

住みたいまち

地域の絆が感じられ、子育て・医療・仕事が充実することで、安心・安全に暮らせ、在住者も移住者も住みたい・住み続けたいまちに。

ワーク②「長期総合計画のまちづくりの目標づくり」

分野ごとに、将来像と将来像に込めた思いからイメージできる具体的な内容を話し合い、意見を出し合いました

分野	具体的な内容		
<p style="text-align: center; color: white;">安全 安心</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 防災を拡充して安全なまち • 犯罪をより減らして安心安全 • 防災 • 自主防災組織 • 防災教育 • 医療 • 共助 • 産婦人科 	<ul style="list-style-type: none"> • 医療費の無料化 • 災害対応 • 健康 • バリアフリー • 公助 • 共助 • 医療 • 福祉 	<ul style="list-style-type: none"> • 産院誘致 • 減災対策 • 河川敷整備と水難対策 • 無堤防地区の解消 • キャンプ場整備 • 特定都市河川事業 • 災害が起こる可能性が高い場所（土砂災害特別警戒区域など）以外への居住誘導（減税の対象外にする等）
<p style="text-align: center; color: white;">子育て 教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 病院誘致、医者が高齢化してきている（わくわくの未来、住みたい） • 室内遊び場（親のつながり、住みたい） • 医療、教育制度の発展 • 豊かな自然を大切に。それを感じられる施策の実施 • 小中へのキャリア教育 • IT学習 • 保育所入れるかもっと早くわかるように • 非農家の子どもも畑で遊ぶ体験を 	<ul style="list-style-type: none"> • 生涯学習 • 公園がある • 子どもがたくさん集う • 歴史の「保存」「感心」「伝導」 • 学校がたくさん • 教育環境、スポーツ施設 • 大学 • デジタル化 • フルーツを使った施策 • デジタル教育（ICT教育） 	<ul style="list-style-type: none"> • 産院誘致 • 地域の見守り • こども医療費無料 • 文化財保護保全 • 学童保育 • 公園整備 • 学校整備計画 • 放課後クラブ（もしくはしたい生徒）と働きたい指導したい方（地域貢献や子供好き等）とのマッチング

※ 総括アンケートで追加募集したご意見も掲載しています。また重複する言葉もそのまま掲載しています。

ワーク②「長期総合計画のまちづくりの目標づくり」

分野ごとに、将来像と将来像に込めた思いからイメージできる具体的な内容を話し合い、意見を出し合いました

分野	具体的な内容		
産業交流	<ul style="list-style-type: none"> 農業従事者の確保 市内で職を見つけてもらいやすい環境を 世代間の交流を増やすためのまつり内での企画 歴史・文化財の保存・周知 農業 地域の農業をみんなで守る 果物、農作物 就労 企業誘致 	<ul style="list-style-type: none"> みりよくの発信 アクティビティ返礼品 ふるさと納税 移住促進 関空への道 動物園水族館 カフェ 働く環境 スマート農業 観光の目玉 	<ul style="list-style-type: none"> イオン フルーツ 農作物 企業誘致（商業施設誘致） 母親の就労 地域おこし協力隊 新規農業従事者と高齢農家（廃業を考えている等）のマッチング
都市基盤生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくり散歩できる場所をつくる 関空から近いまちの早期実現 街灯を増やす 農業、商業、工業、防災面など多方面からのまちづくり都市計画（つながる） 計画的なまちづくりですみたい場所をつくる（すみたいまち） 遊具のある公園 自然との調和 関空連絡道 空き家バンク登録 	<ul style="list-style-type: none"> インフラ 下水道 道路 橋 電車等公共交通機関 関空連絡道 下水道整備計画 県道泉佐野打田線 道路拡幅 道路整備 貴志川線 	<ul style="list-style-type: none"> デマンドバス コミュニティバス 空き家空き地対策 自治区で設置する防犯灯以外で、都市計画に合った道路灯計画整備 都市計画に沿った土地計画利用の促進（農地と宅地の混在を減らす） 空き家の解体と新築のマッチング 既存インフラの有効活用のために空き家解体の促進 打田駅の再開発

※ 総括アンケートで追加募集したご意見も掲載しています。また重複する言葉もそのまま掲載しています。

ワーク②「長期総合計画のまちづくりの目標づくり」

分野ごとに、将来像と将来像に込めた思いからイメージできる具体的な内容を話し合い、意見を出し合いました

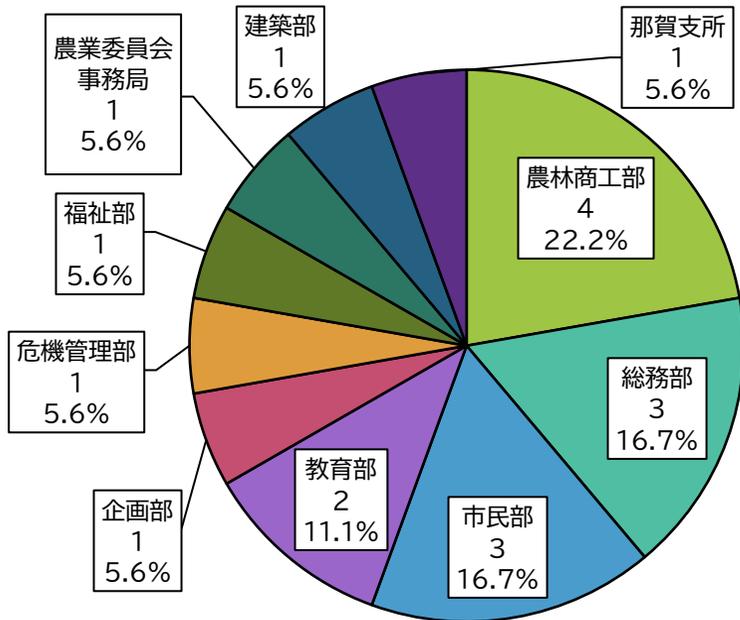
分野	具体的な内容
地域づくり 行政経営	<ul style="list-style-type: none">地域のイベントを大切にする。新しく生み出す誰もが参加しやすい環境づくり自治区の活動若く世代間交流 <ul style="list-style-type: none">活気あふれるまちづくりシティープロモーション世代間交流地域拠点世代間交流 <ul style="list-style-type: none">DX自治会外国人との調和書かない窓口キッチンカーなどの地域交流の場の企画
その他	<ul style="list-style-type: none">アーティストのライブ開催してほしいショッピングモールをつくりたい未来へつながりつながるは、輪とは違うどんどんと無限につながる、つながりが広がっていくのを考えていました。

※ 総括アンケートで追加募集したご意見も掲載しています。また重複する言葉もそのまま掲載しています。

3.実施後アンケートの結果

実施後アンケートの結果

設問文：問1.所属部署を教えてください



n=18

所属部署

所属部署		参加者数
農林商工部	商工労働課	2
	農業振興課	1
	観光振興課	1
総務部	契約管財課	1
	税務課	1
	収納対策課	1
市民部	市民課	2
	健康推進課	1
教育部	教育総務課	1
	生涯学習課	1
企画部	公共施設マネジメント課	1
危機管理部	危機管理消防課	1
福祉部	高齢介護課	1
農業委員会事務局		1
建築部	都市計画課	1
那賀支所		1
計		18

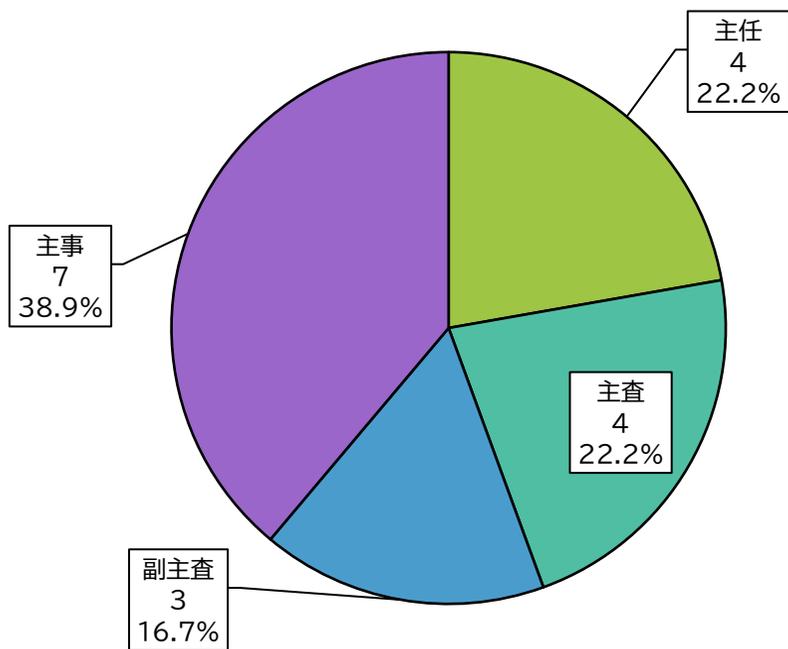
参加者の所属部署の結果

- 参加者の所属部署は、「農林商工部」が22.2%、「総務部」「市民部」が16.7%、「教育部」が11.1%、「企画部」「危機管理部」「福祉部」「農業委員会事務局」「建築部」「那賀支所」が5.6%となっており、農林商工部の割合が最も高くなっています。

実施後アンケートの結果

設問文：問2.役職を教えてください
設問文：問3.参加した回数を教えてください

役職

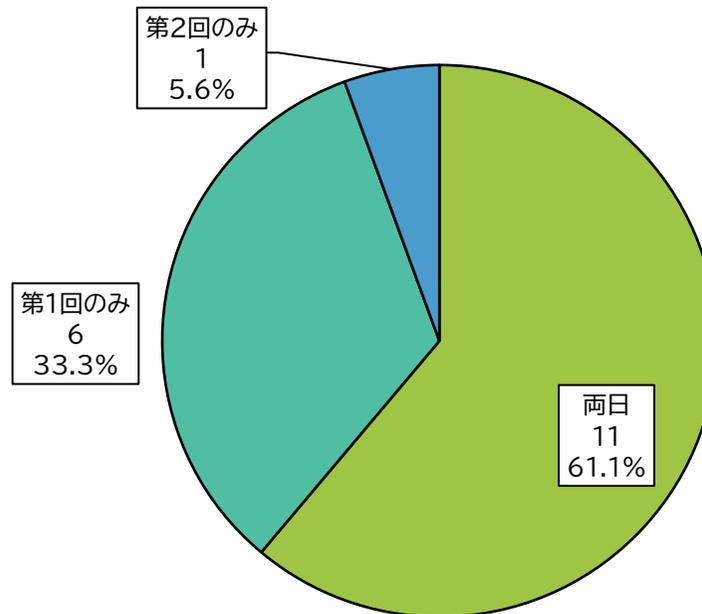


n=18

参加者の役職の結果

- 参加者の役職は、「主任」「主査」が22.2%、「副主査」が16.7%、「主事」が38.9%となっており、主事の割合が最も高くなっています。

参加の回数



n=18

参加の回数の結果

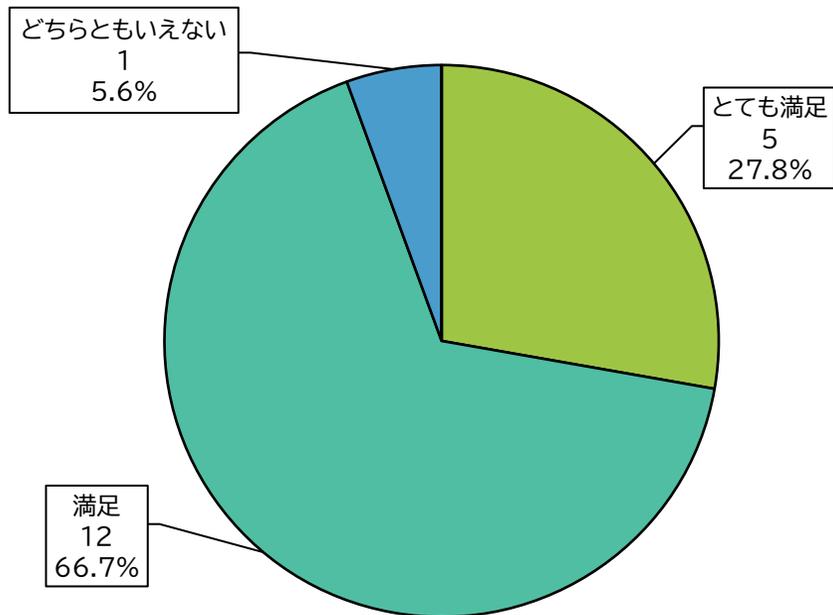
- 参加の回数は、「両日」が61.1%、「第1回のみ」が33.3%、「第2回のみ」が5.6%となっており、第1回は17名、第2回は12名に参加いただきました。

実施後アンケートの結果

設問文：問4.ワークショップ全体の満足度を教えてください

設問文：問5.内容は、紀の川市の将来を考えるうえで有意義だったと思いますか

全体の満足度

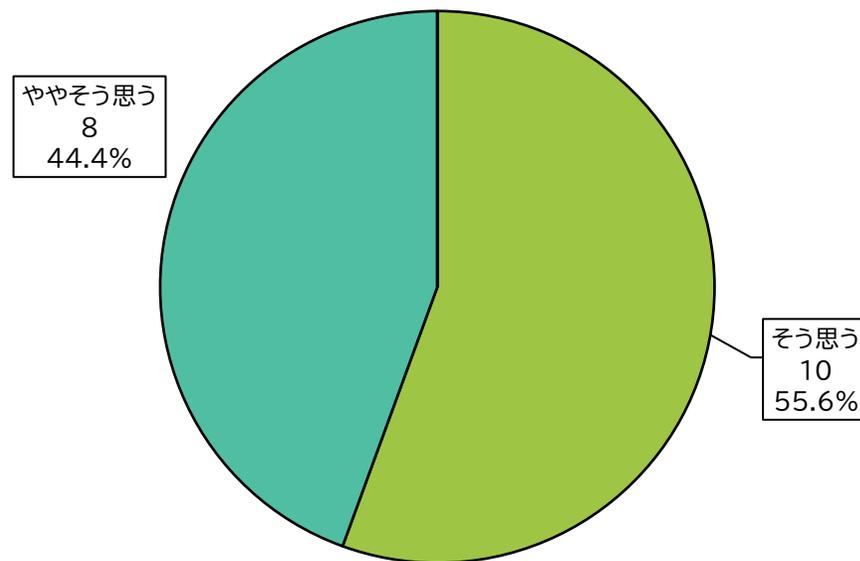


n=18

全体の満足度の結果

- 全体の満足度は、「とても満足」が27.8%、「満足」が66.7%、「どちらともいえない」が5.6%となっており、満足（「とても満足」と「満足」の合計）と回答した割合が94.5%となっています。

内容に対する評価



n=18

内容に対する評価の結果

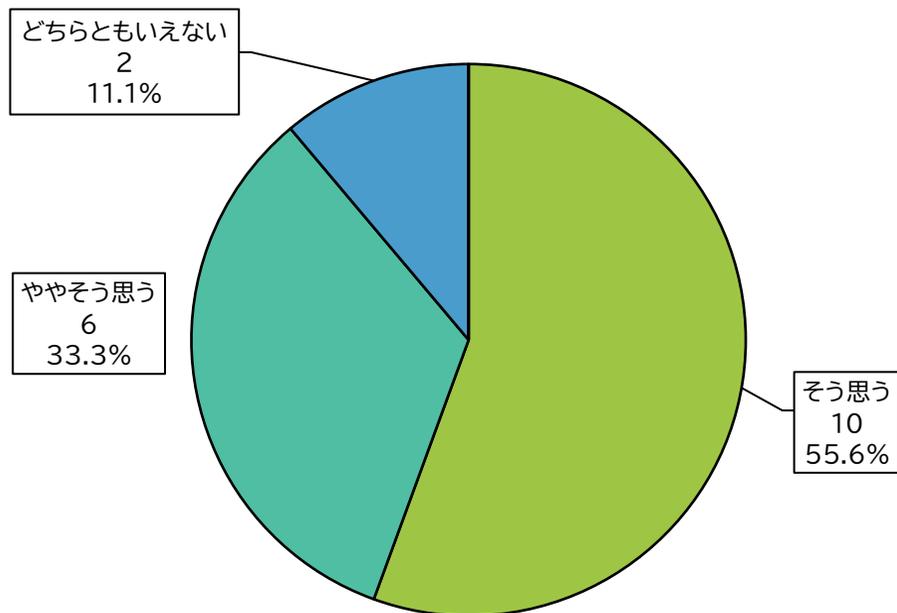
- 内容に対する評価は、「そう思う」が55.6%、「ややそう思う」が44.4%となっており、有意義だった（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した割合が100.0%となっています。

実施後アンケートの結果

設問文：問6.自身の意見や考えを発言・共有しやすい雰囲気でしたか

設問文：問7.将来像を検討するにあたりグループでの話し合いや合意形成の進め方について納得して取り組むことができましたか

発言機会の満足度

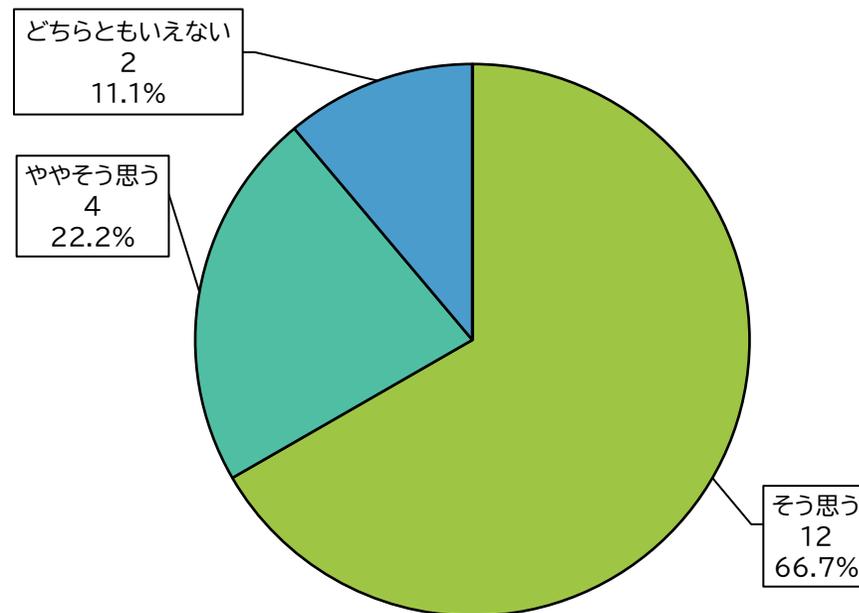


n=18

発言機会の満足度の結果

- 発言機会の満足度は、「そう思う」が55.6%、「ややそう思う」が33.3%、「どちらともいえない」が11.1%となっており、発言・共有しやすい雰囲気だった（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した割合が88.9%となっています。

合意形成プロセスへの納得度



n=18

合意形成プロセスへの納得度の結果

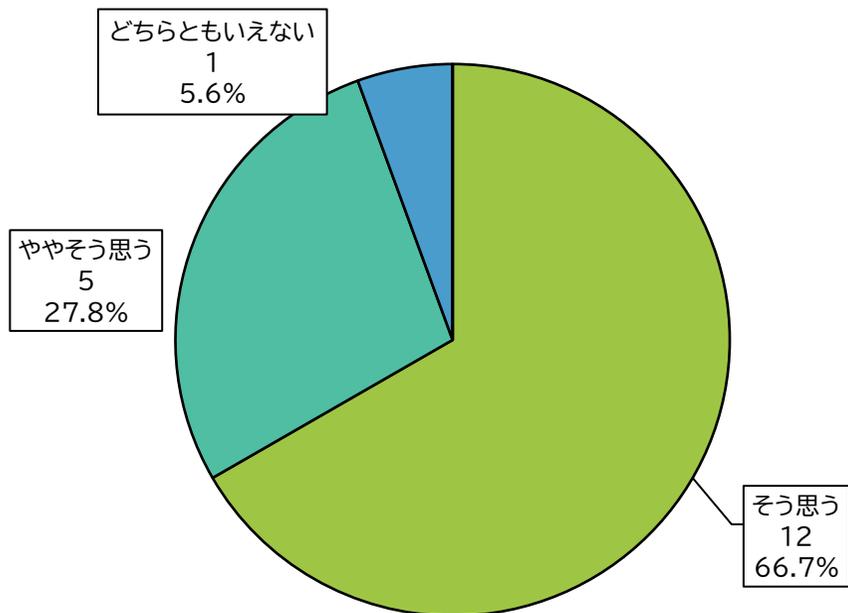
- 合意形成プロセスへの納得度は、「そう思う」が66.7%、「ややそう思う」が22.2%、「どちらともいえない」が11.1%となっており、納得して取り組めた（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した割合が88.9%となっています。

実施後アンケートの結果

設問文：問8. 今後も計画策定の過程に職員が関わる機会があった方がよいと思いますか

設問文：問9. 次回もあれば参加したいと思いますか

職員参画の機会

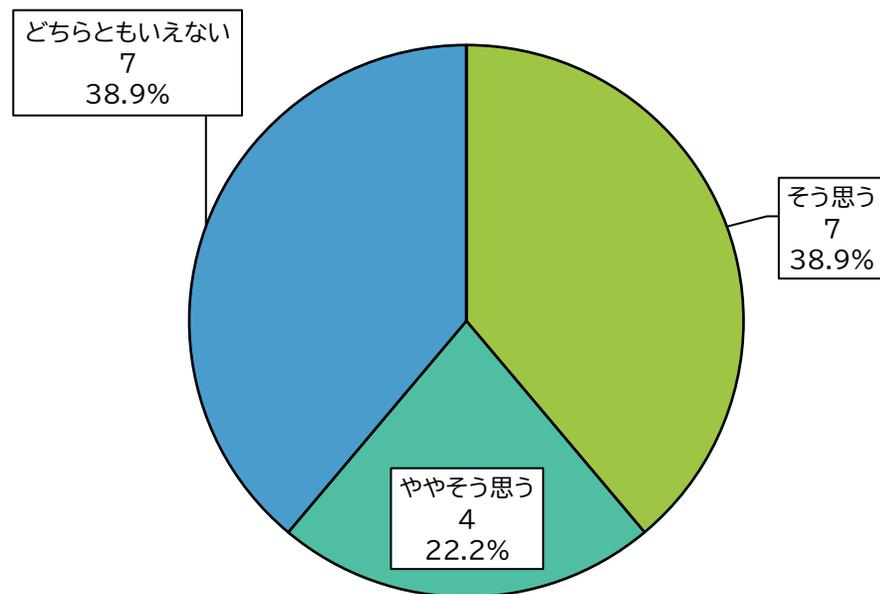


n=18

職員参画の機会の結果

- 職員参画の機会は、「そう思う」が66.7%、「ややそう思う」が27.8%、「どちらともいえない」が5.6%となっており、今後の職員が関わる機会があったほうがよい（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した割合が94.5%となっています。

今後の参加意向



n=18

今後の参加意向の結果

- 今後の参加意向は、「そう思う」が38.9%、「ややそう思う」が22.2%、「どちらともいえない」が38.9%となっており、次回も参加したい（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）と回答した割合が61.1%となっています。

実施後アンケートの結果

設問文：問10. 今回のワークショップを通じて感じたこと、今後の紀の川市に対する思いがあればお書きください

NEXT紀の川ミーティングの感想

項目	件数	主な意見
参画機会の満足度	2件	<ul style="list-style-type: none"> ● 未来の紀の川市を考える機会に参加できて良かったです。 ● ワークショップを通じて、学生・市民・職員の様々な視点で改めて紀の川市を認識することができました。普段、職員として働いてきて思ったことが、『やっぱりみんな思ってたんだ』と感ずることもでき、また『そういう考え方もあるんだ』というような新たな刺激にもなりました。若手に限ることになり、忌憚のない意見が言い合うこともできてよかったですと思います。このような機会でも、仲間同士で今後の紀の川市の展望を考えると、紀の川市の将来も明るいなと思いました。
今後への意気込み	2件	<ul style="list-style-type: none"> ● この度は貴重なお時間を頂きありがとうございました。紀の川市は合併して出来た市ということで、各旧町毎の方針や意見があり、今でも市政運営にあたっては様々ながらみ（人の思い）を考慮していると肌で感じています。実際に、私が窓口で対応していて、市民さんから「打田ばかり開発が進んで。。。」というような声を聞くこともあり、古くからこの地に住まわれている方の心の中はまだまだ旧町のままなのだと思いました。ただし、この旧町毎のしがらみを取り壊さないと紀の川市は間違いなく前進出来ません。例えば施設やイベントの統廃合計画、例えば用途地域の指定、例えば下水道の整備、、、etc、様々ありますがその一つ一つを旧5町合併都市では無く紀の川市として決断しなければならぬ時が、次の10年と考えます。その為には旧町から住まわれてきた方一人一人が、紀の川市民として自覚する必要があると考えます。そこで即効性のある行政からのアプローチとして何が出来るか考えていたのですが、とりあえず各支所や各施設、各イベントから旧町の名前を取っ払うのはどうでしょうか。例えば、「紀の川市東支所、南支所、紀の川市ハーフマラソン」というように。まあ半分冗談ですが、案外効果出るかもしれません笑 結びに、紀の川市は立地上非常に恵まれていると考えます。まためつけもん広場や貴志駅、観音山等を始めとする地点には現に多くの方が外から来訪しており、潜在性を秘めています。来訪を地点で終わらせず地域にする為にも、まずは紀の川市としてひとつになり、紀の川市としてまちづくりをしていく。紀の川市として流動人口や定住人口を増やし、50年100年と存続する市を目指す。そんなわくわくの未来を描いて、これからも紀の川市の市政運営に携わっていただきたいと思います。 ● 向上心のある職員の方々と建設的な話し合いができたのは良かったです。市民が笑顔になれる住みたい町になれるようにまずは、自分が出ることから始めようと思いました。
合意形成の難しさ	2件	<ul style="list-style-type: none"> ● それほど大人数というわけではなかったですが、それでも合意形成を取りながらまとめることの大変さがわかりました。「いま」の紀の川市ではなく「これから」の紀の川市について考えることは少ないので、ワークショップに参加できて良かったです。 ● 合意形成の難しさを実感しました。
会議運営に対するご意見	1件	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回のボリュームなら、三回位あっても良いのかなと思います。後、別の班の人と話す機会がもう少し欲しかったです。

NEXT紀の川ミーティングの感想

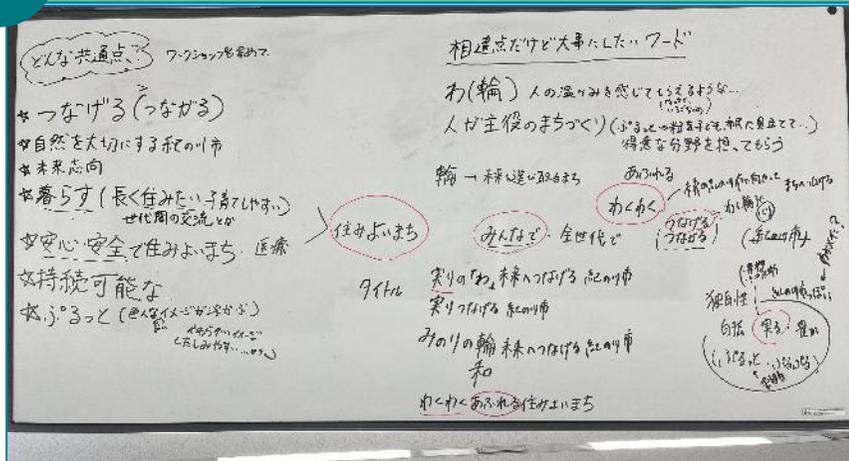
- NEXT紀の川ミーティングの感想は、多様な視点の共有による将来像の明確化と一体感の醸成に関する前向きな意見がありました。

4. (参考) 模造紙の写真

(参考) 模造紙の写真：ワーク①「市民の想いをつなぐ未来像づくり」

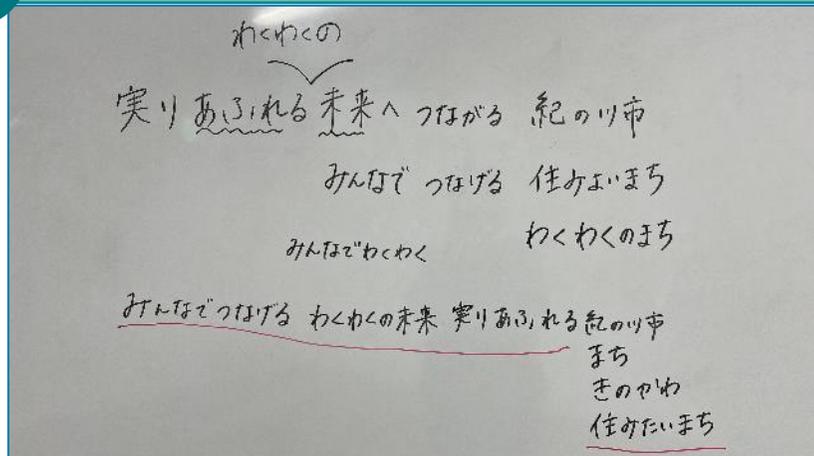
1

共通点・相違点を出す



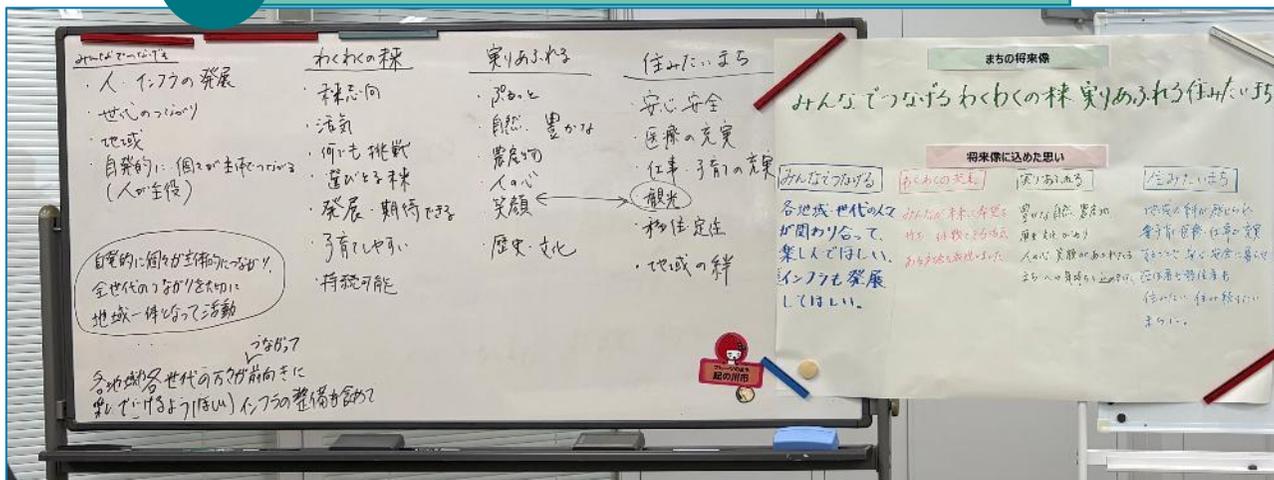
2

組み立て直す



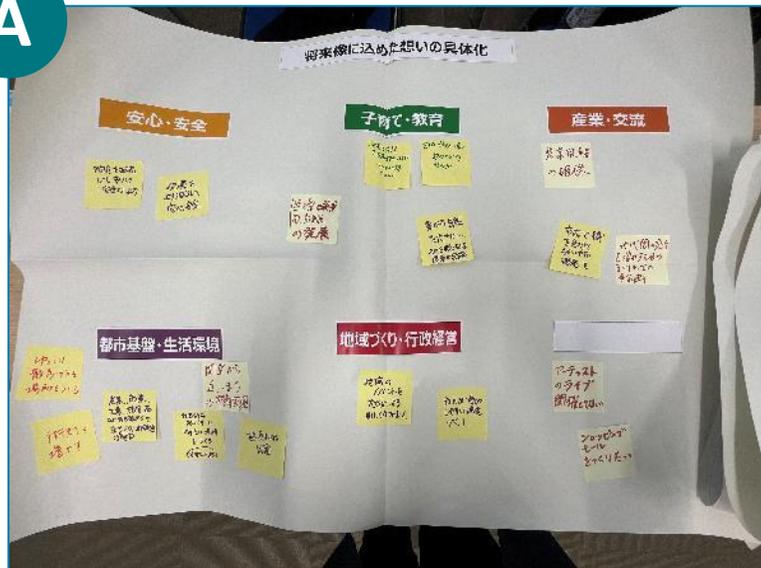
3

仕上げる



(参考) 模造紙の写真：ワーク②「長期総合計画のまちづくりの目標づくり」

A



B



C

